

令和4年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 の 心 理 学

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) ...  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) ...       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、ピアジェ (Piaget, J.) の認知発達理論に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 感覚運動期の子どもは、自分の感覚や身体の運動を通して外界を認識する。
- B 前操作期の子どもは、自分の視点と他者の視点を分けることができない。
- C 前操作期の子どもは、脱中心化により思いやり行動が頻繁に見られる。
- D 具体的操作期の子どもは、論理的思考ができない。
- E 形式的操作期の子どもは、抽象的なことに関しても論理的思考が可能である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	○
3	○	×	×	○	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○

問2 次の文は、保育において子どもや保護者に共感的理解を表現する技術に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 姿勢や動作、声の調子や大きさ、速度などを相手に合わせると、相手はリラックスしやすくなり、近づきやすくなる。
- B 会話をするときには必ず相手の目をしっかり見て、視線を常に捉えるようにする。
- C 相手の発言をそのまま繰り返しても話が深まらないので、少しでも言い回しを変える。
- D 気持ちや感情は本人が言語化しなければならないので、先んじて聞き手が言語化することは避ける。
- E 相槌を打つことで共感的な雰囲気表現できる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	×	×	×	○
3	○	×	×	×	×
4	×	○	×	○	○
5	×	×	○	○	○

問3 次の音声や言語に関する現象A～Eを、一般的な発達における発現の順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 規準喃語
- B 二次のことば
- C 叫喚発声
- D 三語文
- E クーイング

(組み合わせ)

- 1 A→C→E→B→D
- 2 C→A→E→D→B
- 3 C→E→A→D→B
- 4 E→A→C→B→D
- 5 E→C→A→D→B

問4 次の【Ⅰ群】の実験方法・課題と、【Ⅱ群】の用語を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A ストレンジ・シチュエーション法
- B 三つ山問題
- C サリーとアン課題
- D マシュマロテスト
- E マークテスト

【Ⅱ群】

- ア 客体的自己
- イ 自己中心性
- ウ 自己抑制
- エ 愛着
- オ 心の理論

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | ウ | エ |
| 2 | エ | イ | ア | ウ | オ |
| 3 | エ | イ | オ | ウ | ア |
| 4 | エ | ウ | オ | イ | ア |
| 5 | オ | ウ | ア | イ | エ |

問5 次のA～Eの記述のうち、「社会生活基本調査」（平成28年 総務省）の結果として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 平成8年から平成28年にかけて、6歳未満の子どもを持つ夫が家事に費やす時間も育児に費やす時間も増加している。
- B 平成8年から平成28年にかけて、6歳未満の子どもを持つ妻が家事に費やす時間も育児に費やす時間も減少している。
- C 共働き世帯の夫が一日に家事と育児に費やす時間は、夫が有業で妻が無業の世帯の夫より著しく多い。
- D 共働き世帯も夫が有業で妻が無業の世帯も、夫が一日に家事と育児に費やす時間は1時間未満である。
- E 共働き世帯の妻が一日に家事と育児に費やす時間は、夫が有業で妻が無業の世帯の妻より少ない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	×	○
5	×	○	×	○	○

問6 次の文は、幼児期に発現することが多い癖や行動への対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 夜尿は不安やストレスから生じることが多いので、その原因を明らかにし、取り除く。
- B 性器いじりは、声をかけたりして自然にやめられるようにする。
- C 抜毛はやめることを強制すると悪化しやすいので、不安や緊張をやわらげるように働きかける。
- D チックは自分ではコントロールすることが難しいので、周囲が注目や注意をしないようにする。
- E 吃音のある子どもには、「ゆっくりでいいから、落ち着いて話してごらん。」と言葉かけをする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	○	○	×	○

問7 次の文は、保育カンファレンスのあり方に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 本音で語り合う。
- B 他者の問題にも自分の問いを立て、自分事として考えていく。
- C 互いの保育を尊重しあう。
- D それぞれの成長を支え合い育ち合う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	○	×	×	○
5	×	○	○	×

問8 次の文は、保育の記録方法に関する記述である。( A )～( D )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

ドキュメンテーション(実践記録)は( A )を発祥とし、ラーニング・ストーリー(学びの履歴としての記録)は( B )を発祥とした記録方法である。いずれも子どもの活動の経過を写真などと文章で( C )し、保育者と保護者と子どもが情報を( D )しやすくなり、次の保育の構想へと繋がる。

【語群】

ア	イタリア	イ	ニュージーランド	ウ	スウェーデン	エ	可視化
オ	客観化	カ	共有	キ	整理		

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | A | B | C | D |
| 1 | ア | イ | エ | カ |
| 2 | ア | イ | オ | キ |
| 3 | ア | ウ | エ | カ |
| 4 | イ | ウ | オ | キ |
| 5 | ウ | イ | エ | カ |

問9 次のうち、ソーシャルスキルの習得方法として適切なものを【語群】から4つ選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【語群】

A	言語的教示	B	スキヤフオールディング	C	モデリング
D	共同注意	E	モニタリング	F	リハーサル
G	フィードバック				

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 1 | A | B | C | E |
| 2 | A | B | D | F |
| 3 | A | C | F | G |
| 4 | B | C | D | F |
| 5 | D | E | F | G |



問10 次の文は、乳幼児の認知と遊びの発達に関する記述である。( A ) ~ ( D )  
にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳児期に ( A ) が成立すると「いないいないばあ」遊びで一時的に相手の顔が見えなくなっても、同じ顔が再び現れることを期待するようになる。また、生後9~10か月頃になると ( B ) も成立するので、「ちょうだい」という呼びかけに応じてモノを介して人とのやりとりを楽しむことができる。2歳頃になると ( C ) の発達により見立て遊びが可能になり、( D ) によるまねっこをするようになる。

【語群】

ア 二項関係	イ 三項関係	ウ 対象の永続性	エ 視点取得
オ アニミズム	カ 象徴機能	キ リハーサル	ク 延滞模倣

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | カ | キ |
| 2 | ア | キ | オ | ク |
| 3 | ウ | ア | エ | ク |
| 4 | ウ | イ | カ | ク |
| 5 | エ | ア | カ | キ |

問11 次の文は、発達の原理に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発達は絶え間なく、どの部位であっても同じ速度で進んでいく。
- B 乳児がものをつかむ時、最初は全部の指で手のひらに物を押しつけるように握るが、やがて、必要な指だけでつまむようになる。
- C 幼児期の運動能力の発達は幼児の知的能力の発達に影響を及ぼすことはない。
- D 歩行の発達はおおむね、ハイハイ→つかまり立ち→一人歩きの順で獲得される。このことを発達の順序性という。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問12 次の【Ⅰ群】の保育実践における評価に関する記述と、【Ⅱ群】の用語を結び付けた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 実践を行う前に子どもの発達の様子や興味や関心、これまでの保育の内容などから子どもの状況の評価するものである。
- B 集団内での位置づけに基づいて評価するものであり、評価の客観性が高い。
- C 実践の途中に行われる評価で、その評価に基づいて保育者は進捗の把握を行い、指導計画の修正などを行う。
- D 設定された目標に対してどれだけ達成したかを評価するものである。
- E 事後評価とも言われ、それぞれの実践の終了時に実施される。

【Ⅱ群】

- ア 診断的評価
- イ 相対評価
- ウ 総括的評価
- エ 絶対評価
- オ 形成的評価

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | オ | ウ | エ |
| 2 | ア | イ | オ | エ | ウ |
| 3 | ア | ウ | エ | オ | イ |
| 4 | イ | ウ | エ | ア | オ |
| 5 | イ | オ | ア | エ | ウ |

問13 次の【Ⅰ群】の乳幼児の知覚・認知に関する記述と、【Ⅱ群】の用語を結び付けた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 視覚的断崖装置の実験で断崖を怖がる。
- B 「おひさまが笑っている」のように、生命のないものに命や意識、意志などの心のはたらきを認める。
- C 音を聞いたとき、「黄色」や「青」などあたかも音に色があるかのように感じる。
- D 「アンパンマン」や「ピカチュウ」などの人気キャラクターが実在すると思っている。
- E 月や星は人間が作り出したものだと思っている。

【Ⅱ群】

- ア 共感覚
- イ アニミズム
- ウ 奥行き知覚
- エ 人工論
- オ 実念論

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | オ | エ |
| 2 | ア | イ | オ | エ | ウ |
| 3 | イ | ウ | エ | オ | イ |
| 4 | ウ | イ | ア | オ | エ |
| 5 | ウ | オ | ア | エ | イ |

問14 次のうち、感情の発達に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 誕生直後には喜怒哀楽の感情は全て備わっている。
- B 生後間もない時期の泣きやほほえみは、感情の現れではなく身体の状態を反映したものに過ぎないと言われている。
- C 親しい人とそうでない人を分かって、親しい人に自分から笑いかけることを普遍的微笑という。
- D 怒り、嫌悪、恐れは生後半年の間にはっきりしてくる。
- E 1歳半までに恥ずかしさを感じるようになる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 D E

問15 次の文は、発達の課題に応じた援助と関わりに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ハヴィガースト(Havighurst, R. J.)は人生の各段階に特有な課題を達成していくことが重要であり、その課題のことを「発達課題」と呼んだ。
- B ハヴィガーストは8つの段階における発達課題を示した。
- C 発達段階の適応に問題が生じて、次の段階への移行に支障はない。
- D 障害などのない子どもであっても、否定されやすい環境にいるために、発達課題の達成が難しくなるケースもある。
- E 発達をしているのは子どもだけでなく、保護者や保育者も子どもと関係しながら発達している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	×	○
5	×	×	×	○	○

問16 次の文は、乳幼児期の学びに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもが遊んだ後に玩具をもとの場所に片づけられるようになることは、学習である。
- B 子どもには「体験による学び」が重要であり、「知識による学び」は重要ではない。
- C 手洗いの後に、友達がきちんと手を拭いている様子を見て、きちんと手を拭けるようになった。
- D 片づけをした後、「先生にほめられる」といった報酬があった場合には、片づけるという行動は強化される。
- E お菓子を買ってほしいと駄々をこねる子どもに対して、根負けしてお菓子を買って与えることは、駄々をこねればお菓子を買ってもらえると学ばせることになる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	×	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	×	×	○

問17 次の文は、動機づけの理論に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 動機づけは動因や誘因の影響を受ける。
- B 達成動機を高めるように動機づけることを外発的動機づけという。
- C 外発的動機づけは、初めて取り組むことのきっかけづくりには有効な場合もある。
- D 知的好奇心へ働きかけることによって、外発的動機づけは高められる。
- E 外発的動機づけから内発的動機づけに移行することはない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	○	×	○	×	×
4	×	○	○	×	○
5	×	×	×	×	○



問18 次の文は、アイデンティティに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A アイデンティティは時間を経れば自然に獲得される。
- B エリクソン (Erikson, E.H.) によれば、アイデンティティの達成という心理社会的危機は青年期に突然起こってくる。
- C マーシャ (Marcia, J.E.) はコミットメントと危機の基準を組み合わせ、アイデンティティ・ステータスを分類した。
- D 早期完了は危機を経てコミットする領域を見つけることができたということを表す。
- E 同一性拡散は、コミットしていないことが特徴である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	×	○	○	×
3	×	○	×	×	○
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	×	○

問19 次の文は、老年期の発達の特徴に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 結晶性知能は年齢を重ねてもある程度の期間、維持される。
- B エリクソン (Erikson, E. H.) によれば、老年期の心理社会的危機は「親密 対 孤立」である。
- C 老年期は「死への備え」を常に考え続けなくてはならない。
- D 「地域などにおける社会的役割」を持つことが高齢者に良い影響を及ぼす。
- E 老年期の特徴に「空の巣症候群」がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	×	○	○
3	○	×	×	○	×
4	×	○	○	×	○
5	×	○	×	×	○

問20 次の文は、保護者との関わりに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 受容と共感の姿勢は保護者とのラポール形成に必要である。
- B 今、子どもに身につけてほしいことについて、家庭での関わりと保育所での関わりを統一するのが望ましい。
- C ちょっとした会釈など、短い時間でもたくさんの回数に関わることが大切である。
- D 子どもの頑張っている点、小さな変化を見逃さず保護者に伝えていくことで、保護者にゆとりが生まれる場合がある。
- E 保育の知識やスキルを持つ専門家として、保護者の気持ちに関わらず、助言や指示を与える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	×	○	×	×
3	×	○	○	×	×
4	×	○	×	○	×
5	×	×	×	○	○

